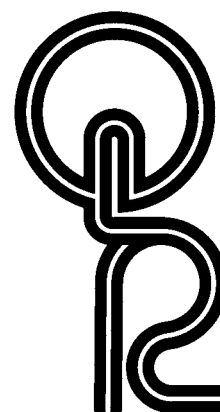


# QR Newsletter



## 第四紀通信

Vol. 30 No.1, 2023



東南極 Lützow-Holm 湾 Langhovde のぬるめ池。露岩の間にわずかに未固結堆積物が残り、更新世の海面変動を記録している可能性がある（国立極地研究所提供）。

Vol. 30 No. 1

February 1, 2023

2023 年大会案内（第 3 報）..... 2	2023-2024 年度役員選挙の予定..... 6
JpGU2023 案内（第 2 報）..... 2	学会賞・学術賞受賞者講演会案内（再掲）..... 6
シンポジウム案内..... 4	通信評議員会議事録..... 7
学会賞・論文賞等推薦のお願い（再掲）..... 4	執行部会議事録..... 7
評議員会案内..... 6	会員消息..... 8

## ◆日本第四紀学会 2023年大会案内（第3報）

本大会は一般研究発表（口頭およびポスター）、シンポジウム、普及講演会、専門巡検を中心に、早稲田大学所沢キャンパスを会場として開催します。開催方法は Covid-19 パンデミック以前の状態に戻すことを基本線として、オンサイト(対面)に一部 Zoom ライブ中継を併用したハイブリッド方式で実施します。ただし、社会状況によっては変更の可能性があります。

大会の内容、申込や手続きについて詳細は、次号以降の第四紀通信でお知らせします。

日 程：2023年9月1日（金）～4日（月）

9月1日（金）一般研究発表（口頭及びポスター）評議員会

9月2日（土）一般研究発表（口頭及びポスター）総会（ハイブリッド形式）懇親会

9月3日（日）シンポジウム／普及講演会／ミニ巡検（一般公開／ハイブリッド形式）

9月4日（月）専門巡検（会員向け）：入間川沿いに露出する下部更新統仏子層の観察

開催場所：（会場）早稲田大学所沢キャンパス（埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15）

最寄り駅：西武池袋線 小手指駅（池袋駅から急行で約 30 分）

駅からスクールバス（参加者も利用可能）or 路線バス（西武バス）で約 15 分

<https://www.waseda.jp/top/access/tokorozawa-campus>

※キャンパス内に駐車場があり、車での来場も可能です。

（専門巡検）埼玉県加治丘陵一帯（西武池袋線仏子駅集合、元加治駅解散）

組 織：大会実行委員長：山田和芳（早稲田大学）

実行委員：久保純子（早稲田大学）、納谷友規（産業技術総合研究所）、工藤雄一郎（学習院女子大学、行事委員長）ほか

### 大会実行委員長から会員の皆様へメッセージ

埼玉県での第四紀学会大会は 2012 年大会以来約 10 年振りとなります。2023 年大会開催地となる県南部の所沢では初となります。所沢は武蔵野台地中央に位置し、狭山丘陵北麓に早稲田大学所沢キャンパスがあります。そこには「トトロの森」として多くの方に親しまれている里山景観が広がっています。まさに第四紀を通じたダイナミックな環境変化にともなって形成された地形の上に、ナショナルトラスト運動によって都市部に希少な自然が残っているところです。シンポジウムでは都市域における自然環境の形成・保全・発展に関するテーマを企画中です。また、武蔵野台地の形成や特徴に関する普及講演会やミニ巡検によって、第四紀研究のこれまでの成果を一般の方々にご覧いただく機会を設けます。専門巡検地となる加治丘陵では、房総半島の上総層群、近畿地方の古琵琶湖層群や大阪層群に対比できる仏子層が露出しています。この仏子層の観察を通じて関東平野の形成に関する初期の地史やテクトニクスに関する議論ができればと考えています。

2023 年夏、埼玉・所沢にて第四紀学を一層深化させる議論・交流の場となるべく準備を進めています。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

---

## ◆日本地球惑星科学連合 2023 年大会のお知らせ（第 2 報）

日本地球惑星科学連合 2023 年大会 -JpGU2023 は、2023 年 5 月 21 日（日）から 5 月 26 日（金）までの会期にて、現地開催（会場：幕張メッセ）とオンライン開催をミックスしたハイブリッド方式での開催となります。前回大会をおおむね踏襲する形となり、口頭発表、ポスター発表、ブース展示、各種イベントなどを現地会場と Zoom を用いたオンライン中継システムを併用しながら開催されます。

JpGU2023 では、大会参加予定のすべての皆様に対して、大会参加プラットフォーム「Confit」が準備されます。「Confit」にログインすることで、セッション情報や発表情報・資料等が掲示されるとともに、タイムテーブル上の Zoom リンクから各セッションに簡単にオンライン参加することができます。

口頭発表は現地会場はもちろんのこと、Zoom でライブ中継されます。現地会場に出向くことなく、ご

自宅や研究室などからオンライン発表・参加が可能となります。なお、現地会場は通常の80%程度の定員が設けられます。

ポスター発表は、「Confit」の各発表者スペースにポスター資料を掲示していただくことが必須となります。また口頭セッションに設定されるポスター発表フラッシュトークタイム中でのショートトークも必須となります。そのうえで、現地ポスターコアタイム(オンライン中継なし)、オンラインポスターセッションのいずれかもしくは両方にて任意で発表していただけます。それらの開催日時については、各セッションの日割りやコマ割りに基づいてあらかじめタイムテーブルが決定されています。

本大会は6つのパブリックセッションを含めて全229セッションが開催されます。新型コロナウイルス感染拡大の状況などによっては、完全オンライン開催に移行する可能性があります。その場合には、現地ポスター発表以外の口頭セッションやオンラインポスターセッション等については、日程・プログラムはそのままオンラインにて実施することになります。

最新情報を含めた詳細は、JpGU2023 ホームページ ([http://www.jpгу.org/meeting\\_j2023/](http://www.jpгу.org/meeting_j2023/)) をご確認ください。

発表投稿受付期間は、2023年1月11日(水)～2月16日(木)です。

日本第四紀学会では、「第四紀：ヒトと環境系の時系列ダイナミクス」セッションを単独で、「活断層と古地震」セッションを共同提案で主催します。また、「人間環境と災害リスク」セッションと「流域圏生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸海域まで」セッションの共催母体となっています。その他の第四紀学と関係する多数のセッションも開催されます。下記に主な関連セッションを挙げておきますので、会員の皆様の積極的な発表登録をどうぞよろしくお願い致します。

発表投稿締切：2023年2月16日(木) 17:00 (早期締切：2月2日(木) 23:59)

※いずれも日本時間(JST)となっています。

※通常投稿料：8,800円、早期投稿料：6,600円(税込)

※大会参加登録料は正規料金36,300円(税込)、会員割引料金(JpGU、AGU、AOGS、EGU各会員)25,300円(税込)です。ただし、小中高教員、大学院生、シニア(70歳以上)は半額、学部生(小・中・高校生も同様)は無料となっています。また、パブリックデー(5月21日(日))はパブリックセッションが無料でご覧いただけます。なお、2019年大会まで設定されていた一日券はありません。大会参加登録期間は3月7日(火)～5月25日(木)です。受付開始前に完全オンライン移行となった場合には、料金の見直しを行います。万一、登録開始後にやむを得ず完全オンライン開催移行と判断した場合には、大会参加登録料は当初通りとなり返金はありません。

H-QR03：第四紀：ヒトと環境系の時系列ダイナミクス(セッション言語：日本語、会場：Room11)

口頭：5月21日(日) AM1、AM2 現地ポスター：5月21日(日) PM3

オンラインポスター：5月21日(日) PM1

S-SS13：活断層と古地震(セッション言語：日本語、会場：Room14)

口頭：5月22日(月) AM2、PM1 現地ポスター：5月22日(月) PM3

オンラインポスター：5月23日(火) AM2

A-HW18：流域圏生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸海域まで(セッション言語：英語、会場：Room08)

口頭：5月26日(金) AM1、AM2、PM1、PM2 現地ポスター：5月26日(金) PM3

オンラインポスター：5月25日(木) AM2

H-DS08：人間環境と災害リスク(セッション言語：日本語、会場：Room10)

口頭：5月23日(火) PM1、PM2 現地ポスター：5月23日(火) PM3

オンラインポスター：5月24日(水) PM1

※それぞれの時間帯は以下のとおりです。

AM1：9:00-10:30、AM2：10:45-12:15、PM1：13:45-15:15、PM2：15:30-17:00、PM3：17:15-18:45

※現地ポスターのコアタイムは各日ともPM3となっていますが、密を避けるべく同日の他の時間帯においても積極的に議論できます。

※発表プログラムは3月24日(金)にウェブ公開予定です。

## ◆公開シンポジウム「縄文時代早期人とその生態—群馬県居家以岩陰遺跡を中心に—」

日 程：2023年3月5日（日）10～17時

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング、最大500名まで、事前登録制）

主 催：日本第四紀学会・領域4（人類と生物圏）

科研費基盤研究S「半定住狩猟採集民の社会組織と葬制：骨考古学先端技術との連携による先史社会の復元」（代表：谷口康浩）

世 話 人：谷口康浩（國學院大學）、工藤雄一郎（学習院女子大学）、那須浩郎（岡山理科大学）、百原 新（千葉大学）

### <趣旨>

日本第四紀学会は2017年度から5つの領域を中心とした活動に移行し、領域4「人類と生物圏」では人類と生物圏・環境の動的相互作用に関係する諸テーマに関する研究活動を支援・推進しております。

今回のシンポジウムでは、縄文時代早期を中心とした遺跡であり、多数の埋葬人骨が出土して注目を集めている群馬県居家以岩陰遺跡での研究成果を中心として、縄文時代早期という時期の特徴や、縄文時代早期人とその生活、当時の古環境などを議論します。日本第四紀学会の会員の皆様だけでなく、後氷期初頭における人と環境の関わりに関心がある皆様もぜひご参加ください。

### プログラム：

10:00～10:05 開会挨拶

10:05～10:50 谷口康浩（國學院大學） 居家以岩陰遺跡の重要性

10:50～11:20 百原 新（千葉大学） 縄文時代早期の古環境

11:20～11:50 工藤雄一郎（学習院女子大学） 居家以岩陰遺跡の年代

昼休憩（70分）

13:00～13:30 近藤 修（東京大学） 縄文時代早期人の特徴

13:30～14:00 植田信太郎（東京大学）・水野文月（東邦大学） DNA分析が明らかにする縄文早期人の系統関係

休憩（10分）

14:10～14:40 那須浩郎（岡山理科大学） 縄文早期人の植物利用—炭化種実分析から

14:40～15:10 山崎京美（國學院大學文学部兼任講師） 動物遺存体からみる縄文早期の動物利用と古環境

15:10～15:40 大工原 豊（國學院大學栃木短期大学） 黒曜石からみる縄文早期人の行動領域

休憩（10分）

15:50～17:00 パネルディスカッション

閉会挨拶

### <事前登録について>

日本第四紀学会の会員に限らず、どなたでもご参加いただけます。（参加費無料、先着500名まで）

3/4（土）までに以下のリンクにある申込みフォームから、事前登録を行ってください。登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

事前登録 URL：<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZAtd-usrj8oGNdpPThRtnYAm5j8xsNo81PW>

※登録者・参加者の上限を500人に設定しております。参加登録者が500名を越えた場合は新規の参加登録ができませんのでご注意ください。

## ◆2023年日本第四紀学会学会賞・論文賞等の推薦のお願い（再掲）

「日本第四紀学会会則」の第3条（3）に基づき、2023年日本第四紀学会学会賞（以下、学会賞）、日本第四紀学会学術賞（学術賞）、日本第四紀学会若手学術賞（若手学術賞）並びに日本第四紀学会論文賞（論文賞）、日本第四紀学会奨励賞（奨励賞）の受賞候補者の推薦募集を行います。前3賞は学会賞選考委員会が会員からの推薦をもとに受賞候補者を選考し、後2賞は論文賞選考委員会が会員からの推薦を参考に受賞候補者を選考します。最終的に2023年6月頃に開催される評議員会で受賞者が決定され、2023年

大会で表彰される予定です。会員のみならずからの多数のご推薦をお待ちしております。

なお、推薦にあたっては、学会 HP の「会則・規則」のページ (<http://quaternary.jp/intro/rules/rules.html>) に掲載されている「日本第四紀学会顕彰規程」及び関連する内規をご参照の上、下記に従って推薦書類をお送り下さい。また、過去に受賞した会員は、論文賞を除き同じ賞を受賞することはできませんので、学会 HP の「歴史」のページ (<http://quaternary.jp/intro/history.html>) で歴代受賞者を事前にご確認頂きますようお願い致します。

## 1. 各賞の概要と推薦書類の記入内容

### ■学会賞・学術賞

学会賞と学術賞は、第四紀学の発展に寄与する研究や学会活動への貢献を行ってきた会員に贈られる賞です。

学会賞：第四紀学の発展に貢献した顕著な業績や活動および学会活動に貢献した正会員に授与。学会における最高の賞。毎年若干名。

学術賞：第四紀学の発展に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与。優れた編書、著書、論文などの一連の業績が対象。対象成果が複数の著書（研究グループ等を含む）によりなされた場合には、筆頭著者または代表者に授与。毎年若干名。

下記の情報を記した推薦書類を作成して、主要業績リストと併せて日本第四紀学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先（自薦を含む）
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 学会賞の場合には、具体的な業績や活動内容を示した受賞件名  
学術賞の場合には、授賞の対象となる一連の業績を含めた受賞件名
- (5) 推薦理由（1000 字以内）

### ■若手学術賞

若手学術賞は国際誌等における研究発表を通して第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた若手会員（2023 年 4 月 1 日時点で 39 歳以下の会員）に授与されるものです。受賞者数は若干名で、受賞対象は過去 2 年間の国際誌等に掲載された論文（オンライン化された論文を含む）の筆頭著者とします。受賞者には副賞として 5 万円の奨学金が授与されます。

下記の情報を記した推薦書類を作成し、推薦する論文の PDF とともに学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先（自薦を含む）
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 推薦論文題目、論文が掲載された雑誌名および出版年月・巻・号・頁、またはオンラインの公開日及び DOI
- (5) 推薦理由（800 字以内）

### ■論文賞・奨励賞

論文賞と奨励賞は、過去 2 年間に刊行された「第四紀研究」（第 60 巻第 1 号～第 61 巻第 4 号）に掲載された論文と著者が対象となります。

論文賞：会員である論文著者全員に授与。毎年 1～2 件程度。対象は掲載された全ての論文（短報を含む）。

奨励賞：会員である筆頭著者に授与。年齢は 2023 年 4 月 1 日時点で 35 歳以下。毎年 1～2 件程度。

受賞者には副賞として 5 万円の奨学金が授与されます。

推薦書類には下記の情報を記し、学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先（自薦を含む）
- (2) 賞の名称
- (3) 論文賞の場合には、全著者名と推薦論文名
- (4) 奨励賞の場合には、候補者名と推薦論文名
- (5) 推薦理由（1000 字以内）

## 2. 推薦書類の送付先

各賞の推薦書類は、郵送または電子メールで日本第四紀学会事務局へ送付して下さい。送付先の住所ならびに送信先のメールアドレスは下記のとおりです。

郵送：〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル

メールアドレス：daiyonki(at)shunkosha.com (“(at)”の部分を“@”に変えて下さい)

郵送の場合の宛名は、学会賞・学術賞・若手学術賞の推薦書類については、「日本第四紀学会 学会賞選考委員会」宛、論文賞・奨励賞の推薦書類については「日本第四紀学会 論文賞選考委員会」宛として下さい。電子メールの場合には、上記のそれぞれの宛先名を電子メールの件名に入力して送信して下さい。なお、PDF等のファイルを電子メールで送る場合、その容量が大きい場合（10MB以上）には、ファイル転送サービスを利用して下さい。

### 3. 提出期限

推薦書類の提出期限は、いずれも2023年2月28日（火）（必着）です。

#### ◆ 2022年度第3回評議員会の案内

以下の内容で、第3回評議員会が開催されます。

日時：2023年3月22日（水）9:00～12:00

方法：Zoomを用いたオンライン会議

議事内容（予定）：2022年度事業中間報告・会計中間報告ほか

評議員会メンバーの方には、後日メーリングリストにて詳細内容をご連絡いたします。なお、会長経験者・名誉会員の方には、今回は個別の案内を差し上げませんので、評議員会に参加される方は、3月20日（月）までに下記庶務委員会まで電子メールにてご連絡をお願いします。

メールアドレス：shomu(at)quaternary.jp [(at)の部分を@に変えて送ってください。]

(庶務委員会)

#### ◆ 2023-2024年度役員選挙の予定

2年に1度、役員（会長・副会長・評議員）の選挙が実施されます。2023-2024年度（2023年7月1日～2025年6月30日）の役員を決める選挙の会告（選挙方法、定数、立候補・推薦候補の受付期間、投票期間などの連絡）は2023年3月上旬、選挙は4月中旬から5月上旬ころを予定しています。また、投票方法は前回と同様に「会員マイページ」からweb上での投票となります。

執行部会や領域を中心とする新しい運営体制に移行して、3期6年目の後半に入っています。評議員への立候補・推薦候補者数は回を重ねるごとに減少し、その影響は投票率の低下や白票数の増加に現れていると思われます。さらに、評議員選挙は立候補・推薦候補者を含め、被選挙権を持つ全正会員を対象に行われるため、当選しても辞退される会員が出るのが考えられます。学会活動をより活性化する点からも、次期役員への立候補・推薦候補者が多く出ていただくことを期待します。今からご検討をお願いいたします。

(庶務委員会・選挙管理委員会)

#### ◆ 2022年日本第四紀学会 学会賞・学術賞記念講演会のお知らせ（再掲）

期 日：2023年2月18日（土）9:30～12:30

参加方法：Zoomによるオンライン講演会、無料（非会員の方でも参加できます）。以下のリンクにある申込みフォームから、2月17日（金）までに事前登録を行ってください。登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

事前登録 URL：<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZ0sd--orzsoHtHDnpawJoY-EtiJ9vnHviQi>

※登録者・参加者の上限を500人に設定しております。参加登録者が500名を越えた場合は新規の参加登録ができませんのでご注意ください。

プログラム：第四紀通信 第29巻6号をご覧ください。

## ◆日本第四紀学会 2022 年度第 1 回通信評議員会議事録

開催期間：2022 年 11 月 17 日（木）4 時 56 分～  
11 月 21 日（月）24 時 00 分

下記 2 件を評議員会メーリングリストを用いた電子メールで審議し、評議員 39 名のうち 33 名から、承認の回答があった。よって、日本第四紀学会評議員会規程第 6 条（電磁的な方法で開催された評議員会での議決は、会則第 14 条 7 に従う）と会則第 14 条 7（電磁的方法をもって評議員会を開催し、2 分の 1 以上の返信をもって成立させることができ、審議に加わった評議員の過半数が同意の意思表示をしたときは、議決することができる。）に則り、下記の 1 と 2 は承認された。

## 審議事項

- 2022 年度論文賞選考委員会委員長の承認  
第 2 回（臨時）評議員会にて承認を受けた論文賞選考委員の互選にて、評議員の奥野 充委員が委員長に推薦された。奥野 充委員を委員長とすることの承認を求める。
- 2023 年大会の開催地と内容と実行委員長の承認  
2023 年大会は 2023 年 9 月 1 日～3 日、早稲田大学所沢キャンパスで開催し、大会実行委員長を山田和芳会員（早稲田大学）とすることを執行部会で決定した。開催地と内容と実行委員長の承認を求める。

## ◆日本第四紀学会 2022 年度第 3 回執行部会議事録

日 時：2022 年 12 月 14 日（水）14:00～16:55  
方 法：Zoom システムを用いたオンライン会議  
出席者：鈴木毅彦（会長）、北村晃寿（副会長）、  
須貝俊彦（副会長）、水野清秀（庶務）、  
工藤雄一郎（行事）、那須浩郎（広報）、  
山田和芳（渉外）、田村 亨（領域 1）、  
堀 和明（領域 2）、目代邦康（領域 5）  
欠席者：齋藤めぐみ（会計）、苅谷愛彦（編集）、  
卜部厚志（領域 3）、海部陽介（領域 4）

## 主な報告事項

- 文部科学省からの 2021 年度学会が主催した国際的な研究集会に関するアンケートに回答した。また、防災学術連携体からの学会での関東大震災 100 年関連行事等の調査に回答した。
- 2022 年度学会賞選考委員会委員、論文賞選考委員会委員、選挙管理委員会委員、法務委員会補充委員へ委員委嘱の連絡を行った。
- 2022 年度第 1 回目の事務局委託経費等の請求書を確認し、支払いを承認した。
- 第 4 回（11/15～19）・第 5 回（11/23～30）・第 6 回編集委員会（12/01～13）をオンライン形式で開催した。編集状況は、通常号：受理前 6、受理済み 6、特集号：受理前 14、受理済み 2 である（いずれも書評とシンポ趣旨を除く）。
- 「第四紀研究」第 61 巻 4 号（冊子体）を 12 月上旬に発行し、会員に配付した。また同号掲載論文の J-STAGE 認証を解除した。「第四紀研究」第 62 巻 1 号（冊子体）掲載予定論文とその電子付録を 12 月上旬に J-STAGE・J-STAGE data で早期公開した。
- 「第四紀通信」第 29 巻 5、6 号を編集し、発行した。
- 2022 年 12 月 5 日に本会メーリングリストを

悪用したスパムメールが一部会員に配信された（[jaqua #1523] Your personal data has leaked due to suspected harmful activities）。これに対して、会員へ周知するとともに、注意喚起のメールを配信した。

(8) 2023 年大会は 9 月 1 日（金）～3 日（日）、専門巡検 4 日（月）、早稲田大学所沢キャンパスを会場とし、実行委員長：山田和芳（早稲田大）、実行委員：工藤雄一郎（行事委員長）、久保純子（早稲田大）、納谷友規（産総研）ほかで行う。シンポジウムは 3 日午前中に都市環境の形成・保全・発展をテーマとして企画中である。普及講演会・ミニ巡検は 9 月 3 日午後には武蔵野台地の形成、人と環境に関することを計画している。専門巡検は 4 日に入間川沿いの仏子層（下部更新統）の観察を予定している。

(9) 2022 年学会賞・学術賞受賞者 3 名による講演会は、2023 年 2 月 18 日（土）9:30～12:30 にオンラインで実施することになった。非会員を含めて参加費無料とした。

(10) 11 月 29 日にオンラインにて日本地球惑星科学連合第 27 回学協会長会議が開催された。本会からは鈴木毅彦会長が出席した。

(11) 12 月 4 日にオンラインにて 2022 年度自然史学会連合総会が開催された。本会からは百原 新会員が出席した。なお、次回は 2023 年 5～6 月に総会を予定している。また、今年度の分担金負担はない。

(12) 日本地球惑星科学連合（JpGU）2023 年大会（2023 年 5 月 21 日～26 日）について 12 月 9 日に開催セッションが公開された。本会では、以下の 4 件について学協会セッション（主催、共催）とした。流域圏生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸海域まで（A-HW18）、第四紀：ヒ

トと環境系の時系列ダイナミクス (H-QR03)、人間環境と災害リスク (H-DS08)、活断層と古地震 (S-SS13)。

(13) 領域4主催の公開シンポジウムは2023年3月5日(日)10:00～17:00にハイブリッド開催とし、テーマは「縄文時代早期人とその生態―群馬県居家以岩陰遺跡を中心に―(仮)」、8名による発表とパネルディスカッションを予定している。発表内容を「第四紀研究」の特集号として編集する予定である。

### 主な審議事項

(1) 会員MLの悪用が生じたことをうけて、配信権限者は会員マイページ内から配信する方法に変更することにした。

(2) 2023-2024年度役員選挙に関して、2022年度会費未納入者は選挙権・被選挙権がないことから、未納入者に対して事務局からダイレクトメールで会費納入呼びかけを行うこととした。役員選挙のスケジュールは、3月初めに選挙会告(文書郵送)、3月下旬立候補・推薦候補最終受付締め切り、4月上旬候補者受付結果と選挙実施の会告(メールと会員マイページ内提示)、4月下旬投票締め切り、4月末頃投票結果の確認、5月上旬当選者等の答申とすることを確認した。投票はweb(会員マイページ)で行い、推薦候補者の本人(承認)確認

は承認したことを示す証拠(メール転送)等で対応することにした。

(3) 顕彰規程等について、いくつか見直し案の検討を行った。「論文賞」の対象については、非会員も含めることにするが、特集号などの非会員への依頼論文は対象外とし、学会賞・学術賞受賞記念論文も対象外とすることを基本案とし、他の学会の例を参考にすることにした。各賞受賞者に対応して、メダル・トロフィー等の記念品などを贈呈することについて世代間の認識の違いがあり、副賞の内容を含めてアンケートの実施や他学会での実状調査を行うこととした。また、他の学協会の顕彰に関する当学会からの推薦や助成金(国際学会参加など)を判断する業務を学会賞選考委員会などに担当してもらおう案を作成することにした。

(4) Zoom契約の支払いはカード払いにしているが、その方法について関係者で検討することにした。

(5) 2023年4月18日(火)午後に計画されている、第15回防災学術連携シンポジウム(テーマは「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」)について、本会から発表者を出すか、関係者間で検討することにした。

(6) INQUAローマ大会若手派遣支援の選考と第26-27期学術会議会員・連携会員選考対象情報の提供については、会長・副会長を中心に検討・調整することとした。

★★★★ 第四紀学会に情報をお寄せください ★★★★★

日本第四紀学会では、第四紀通信のほか、メーリングリスト(ML)、ホームページ(HP)を用いて情報発信をしております。メール本文に配信内容のタイトルと簡単な情報を書いて広報委員会アドレス(jaqua-koho(at)quaternary.jp)へご投稿ください。

情報発信の手段として、MLの積極的な使用をお願いします。MLへのご投稿についての詳細は、第四紀通信29巻4号の巻末をご覧ください。HP(<http://quaternary.jp/>)でも閲覧可能です。

第四紀通信には主催・後援イベントなど第四紀学会として会員に広く周知する必要があると認められる情報を、HPには主催・後援イベントなどのほか「公募・助成」情報等を掲載します。

詳しくは広報委員会アドレス宛に、個別にご相談ください。

日本第四紀学会広報委員会

日本第四紀学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル

株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail: daiyonki(at)shunkosha.com 電話: 03-5291-6231 FAX: 03-5291-2176